

# 取組事例

## 1 市町村の事例

---

(5) 趣味・教養を高める活動に関すること

**事業名** [ 人権を考える講話会 ]

**目的** 上越市民が人権について考える機会とし、人権を尊び部落差別などあらゆる差別をなくした明るい上越市の実現を目指す。

**実施主体** 上越市教育委員会

**参加対象** 地域住民、保護者、学校教職員

**参加者数・回数・日数・時間・場所** 下記のとおり

**内容** 講師：生涯学習推進課社会教育指導員  
同和問題を中心とした人権の問題や、人権・同和教育の推進、啓発に関することについての講話、質疑応答、意見交換など

項目	①計画実施	②要請実施
対象	1つの小学校区ごとに開催 毎年18小学校区 市内54小学校区を3年で一巡	開催依頼のあった高校、PTA、企業など
期日・時間	4月～3月まで 小学校区の都合にあわせて開催	4月～3月まで 開催主体の都合にあわせて
回数	年18回	年度によって異なる。
場所	学校、公民館、総合事務所など	学校、公民館、町内会館など
参加者数	平成21年度：18回・598人 平成22年度：18回・751人 平成23年度：18回・620人(予定)	平成21年度：6回・534人 平成22年度：10回・584人 平成23年度：9回・800人(予定)

<b>成果</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>・同和問題を初めて聞くという方もおられるが、同和問題について正しい認識をもってもらうなど理解を深めている。</li><li>・内容について共感的に受け止めていただきながら、同和問題に限らず、差別をなくさなければならないという人権意識を高めている。</li></ul>
<b>課題</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>・開催する時間帯などにより、参加者が小学校の保護者が中心になり、人数に限られる。もう少し地域住民の参加を促す必要がある。</li><li>・参加者（特に高齢者）の中には誤った知識を持っている方や、寝た子を起こすな論をもっている方もみられる。とらえ方を変えていただき、差別の再生産が起きないように一層注意していく必要がある。</li></ul>

**問合せ先** 上越市教育委員会 生涯学習推進課 社会教育係 主任 沢田  
〒942-8563 上越市大字下門前593番地 TEL：025-545-9268（内線1230）  
FAX：025-545-9273 sawada.s@city.joetsu.lg.jp

**事業** [ 高齢者大学「記念共同制作 ちぎり絵」 ]

**目的** みんなで力を合わせて、ひとつの作品を作りあげる楽しさを実感してもらう。

**実施主体** 新発田市紫雲寺地区公民館

**参加対象** 高齢者大学「五葉大学」生徒60人      **参加者数** 31人

**回数** 1回      **日数** 1日      **時間** 3時間

**場所** 紫雲寺地区公民館 大ホール

**内容**

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	8月24日（水） 9:00～12:00	「五葉大学」開講40周年記念の思い出に残る作品をつくる	和紙ちぎり絵サークルのみなさん
	内容 方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・紫雲寺地区にまつわる「れんぎょう・さくら・メジロ・花火・稲穂・五葉松」をテーマとした、6枚の大きなちぎり絵づくり。</li> <li>・テーマごとにグループ分けをし、下絵にそって、写真や絵を参考にしながら学生たちの感性で和紙を貼ってもらった。</li> <li>・下絵は事務局側で作成。</li> </ul>	

**成果**

- ・アンケートでは、「思い出に残る作品を作り、難しかったけれど、楽しくできて本当に嬉しかった」、「みんなと協力しながらの作業はとても楽しかった」など、学生に大いに満足していただいた。中には、趣味としてちぎり絵に関心をもたれた学生もいた。
- ・講師においても共同で作る大きなちぎり絵作品は初めてのことだったようだが、「予想以上に大変立派な作品ができた」ととても喜んでいただいた。
- ・文化祭に出品し、来場者の目を楽しませ、好評を得た。現在は公民館に展示している。

**課題**

- ・ちぎり絵に関心をもった方々が、今後サークルをつくることのできるような仕掛けをつくっていったら、なお良かった。

**問合せ先**

新発田市 教育委員会 紫雲寺地区公民館（担当：中山 恵里子）TEL：0254-41-2291

**事業名**

〔 のう楽習館 生涯学習講座 〕

**目的**

市内成人男女を対象に現代的課題等をテーマとした事業を実施し、学習活動の拡大を図る。

**実施主体**

糸魚川市教育委員会生涯学習課

**参加対象**

市内成人男女

**参加者数**

延べ56名

**回数**

7回

**日数**

7日

**時間**

毎回約2時間

**場所**

のう楽習館(能生生涯学習センター)

**内容**

他「フラダンス教室」(2月8日から4回)「手話教室」(2月7日から3回)等

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	11月22日(火) 11月29日(火) 10:00~11:30	手芸講座	思い出手芸クラブNuuNuu 西典子様
	内容 方法	思い出のつまった古着を利用し、リサイクルクッション作りを行った。参加費300円 保育ルームは設置しなかったが、お互いに面倒を見る事で子育て中の女性も参加できた。	
2	11月27日(日) 13:30~17:00 11月30日(水) 13:00~15:00	お菓子作り講座 (和菓子コース11/30・洋菓子コース11/27)	和菓子コース 金泉堂 岡本喜十郎 様 洋菓子コース リーベル/イナ 猪又健之 様
	内容 方法	市内菓子店のパティシエを講師に迎え、参加者と一緒にクッキー・和菓子作りを行った。 参加費：和菓子コース500円 洋菓子コース1,000円	
3	12月6日(火) 12月13日(火) 12月20日(火) 19:00~20:30	手話教室	糸魚川手話サークル 藤井 久美子様 他2名
	内容 方法	糸魚川手話サークルの方を講師に迎え、手話教室を行った。参加費無料	

**成果**

- ・講座をとおして市民の学習意欲を高めることが出来た。  
また、同じ趣味を持ちながらも繋がりの無かった者どうしが交流を持つきっかけとなった。

**課題**

- ・市民のニーズが十分に把握されていないため、テーマの設定に苦慮している。  
日ごろ、公民館事業に積極的でない20歳代から30歳代の若い方に参加してもらえりような事業を実施したい。

**問合せ先**

糸魚川市教育委員会生涯学習課(担当：伊藤一哉) TEL：025-566-3355

**事業名** [ 市民学習講座 人権講演会 ]

**目的** 差別の歴史を学び、差別の根源を理解し、差別解消につなげる。

**実施主体** 魚沼市教育委員会

**参加対象** 市民一般

**参加者数** 述べ 198人

**回数** 4回 **日数** 4日

**時間** 計 9時間

**場所** 小出ボランティアセンター、堀之内公民館

**内容**

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	10月25日19-21時	差別はなぜ生まれたのか	魚沼市中央公民館長
	内容・方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3回シリーズの第1回。</li> <li>・同和、外国人などに対する差別の歴史、実態、継承の構造などについての講義。</li> <li>・同和差別の歴史を解説したDVDを視聴した。</li> </ul>	
2	11月12日13-16時	在日外国人の人権と日本社会	東洋大学教授 井沢泰樹 様
	内容・方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東洋大学の出前講義。</li> <li>・在日韓国人3世の講師による、自身の経験談を交えた、在日外国人を取り巻く問題についての講義。</li> <li>・東洋大学の公開講座・講師派遣事業に応募し、実現した。</li> </ul>	
3	11月29日19-21時	一茶と賢治の生き方に学ぶ	魚沼市中央公民館長
	内容・方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3回シリーズの第2回。</li> <li>・俳人小林一茶と詩人宮沢賢治の生涯に差別との闘いという観点から共通性を見出し、差別に対する態度と宗教の関係などを扱った講義。</li> </ul>	
4	12月13日19-21時	差別の解消に向けて	魚沼市中央公民館長
	内容・方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3回シリーズの第3回。</li> <li>・差別の解消に向けて、様々な立場、事象、観点から考察、総括する内容の講義。</li> <li>・「寝た子を起こすな」論の誤り、地域の実態、差別温存の背景などの解説。</li> <li>・人が作った差別は断個人がなくすべき。</li> </ul>	

**成果** ・参加者アンケートでは、非常に意義深かったなどの感想が多く、概ね好評であった。質疑も活発なものになり、市民の人権意識啓発に効果的な講座になった。

**課題** ・内容的に連続、関連している講座なため、全日程参加してもらいたかったが少数に留まった。日程の間隔を詰めるなどの工夫が必要か。  
・市職員の資質向上のための研修としても位置付けたが参加者が少なく、工夫が必要。

**問合せ先** 魚沼市教育委員会 生涯学習室（担当：桜井） TEL:025-794-6073

**事業名**

〔越後上布体験講座〕

**目的**

国の重要無形文化財指定及びユネスコ無形文化遺産に登録されている越後上布の製作工程を体験する機会を提供することにより、南魚沼地域の伝統工芸と文化に対する理解を深めてもらう。

**実施主体**

南魚沼市教育委員会

**参加対象**

小学校3年生～大人

**参加者数**

延べ67人

**回数**

各1回

**日数**

各1日

**時間**

1～6時間程度

**場所**

旧塩沢町各所

**内容**

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	8月5日（金） 9：30～16：30	市内小学生（3～6年生）限定 のびのび越後上布体験講座	越後上布技術保存協会 塩沢織物組合 鈴木牧之記念館 塩沢つむぎ記念館
	内容・方法	午前：居座機織り・苧績み見学、苧引き体験、草木染め体験 午後：鈴木牧之について学ぼう！（ミニ講座）、高機織り体験	
2	3月5日（土） 10：00～ 15：00	越後上布体験講座	越後上布技術保存協会 塩沢織物組合
	内容・方法	午前：越後上布についての学習会（ビデオ上映等）、各種製造工程の実演、体験（伸べ・苧績み・居座機織り・緋くぶり） 午後：雪さらし体験、質疑応答	
3	3月5日（土） 11：00～ 11：30	市内小学生（3～6年生）・中学生限定 雪さらし体験講座	越後上布技術保存協会 塩沢織物組合
	内容・方法	上十日町雪さらし場にて雪さらし体験	

**成果**

・ 普段触れる機会の少ない越後上布をはじめ地域の伝統文化に触れ、体験する機会を提供出来た。小学生に対しては、地域の誇りある文化に親しみを持ってもらう良い機会になったと思う。

**課題**

・ 2の越後上布体験講座については、50人定員のところ100人を超す応募があった。開催日数を増やす等の対策が必要だが、現状では難しい状況である。  
・ 市民の上布に対する興味が薄いことが懸念される。市内参加者をもっと増やす努力が必要である。

**問合せ先**

南魚沼市教育委員会社会教育課 文化振興係（担当：平賀 詩織）TEL:025-777-4671

**事業名**

〔シルクフラワー教室〕

**目的**

繭玉で作るものづくりに挑戦し、学校文化祭の展示作品とする。

**実施主体**

粟島浦村教育委員会

**参加対象**

全村民

**参加者数**

15人

**回数**

1回

**日数**

1日

**時間**

3時間

**場所**

粟島浦村公民館

**内容**

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	10月20日（木） 午後7時～10時	短時間でできる飾り物をつくる。	村上市まゆの花の会 横井 栄子 様 横井 絹子 様
	内容・方法	講師から材料を提示していただき、自分に好きな者を選んで作る。 時間までに完成させ、皆で発表しあう。 できあがった作品は、11月3日の学校文化祭に展示して村民に披露する。	

**成果**

- ・過去にも手がけたことがあるので、参加者は手際よく講師の指導を受けていた。それぞれがすてきな作品を完成させ満足感を得た。また、学校文化祭ではひととき目立ち観客を喜ばせた。

**課題**

- ・村民が学校文化祭に参加協力するための一助として今後も続けたいが、講師の確保に苦慮している。

**問合せ先**

粟島浦村教育委員会 本保 0254-55-2111